



A | 《商人たちの到着》 1905年 宮城県美術館蔵 B | 《3本の菩提樹》 1908年 石橋財団アーティゾン美術館蔵 C | 《浮遊》 1927年 宇都宮美術館蔵
D | 《尖端》 1920年 公益財団法人大原芸術財団 大原美術館蔵 E | 《支え無し》 1923年 ボーラ美術館蔵 F | 《全体》 1940年 東京国立近代美術館蔵
G | 斎藤佳三 《リズム模様色糸刺繍帯》 1940年頃 東京藝術大学大学美術館蔵 A～Fはワシリー・カンディンスキー作



観覧料＝一般 1,200円(1,100円)／大学生及び75歳以上 1,000円(900円)／高校生以下又は18歳未満 無料

●コレクション展【本館・東山魁夷館】との共通料金 | 一般 1,700円／大学生及び75歳以上 1,300円

※割引の併用不可 ※()内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料 ※高校生、大学生及び75歳以上の方は、身分が確認できるものをご提示ください ※長野県内の大学等に通う学生は無料(詳細は長野県立美術館ホームページ参照)

主催＝長野県、長野県立美術館、カンディンスキー展実行委員会 共催＝長野県教育委員会 後援＝長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野事業本部、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ 助成＝一般財団法人 地域創造



【関連イベント】

●講演会1「カンディンスキー 世界は鳴りひびく」

講師＝松本 透氏(アーティゾン美術館 副館長)

日時＝11月7日[土] 午後2時～3時30分(開場は1時30分) 会場＝本館B1ホール

定員＝先着100名 ※要観覧券・事前申込不要

●講演会2「カンディンスキー美術談義！宮城県美術館・宇都宮美術館のコレクションを中心に」

講師＝小檜山 祐幹氏(宮城県美術館 副主任研究員 本展企画者)／石川 潤氏(宇都宮美術館 専門学芸員)

日時＝12月13日[日] 午後1時～3時30分(開場は12時30分) 会場＝本館3階レセプションルーム

定員＝先着50名 ※要観覧券・事前申込不要

●担当学芸員によるギャラリートーク

日時＝11月14日[土]、12月5日[土] 各回午後2時～ ※展示室3にお集まりください ※要観覧券・事前申込不要

【アクセス】

●バス(アルピコ交通)：JR長野駅善光寺ロバス乗り場①から乗車時間約15分

【11系統】善光寺経由宇木行、【16系統】善光寺・若機団地経由若機東条行、

【17系統】善光寺・西条経由若機東条行／いずれも「善光寺北」下車徒歩3分

【10系統】善光寺行(びんする号)「善光寺大門」下車徒歩10分(土日祝日は「城山公園前」下車徒歩1分)

●鉄道(長野電鉄)：「善光寺下駅」下車徒歩15分

長野県立美術館には一般来館者のための駐車場はありません。公共交通機関、または近隣の有料駐車場をご利用ください。城山公園駐車場をご利用の場合、観覧券のご提示により、駐車料金の割引があります。なお、併設の東山魁夷館北側の駐車場は「信州パーキング・パーミット制度」専用駐車場です。

諸般の事情により内容等に変更が生じる場合があります。最新の情報は長野県立美術館ホームページをご覧ください。

長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum
〒380-0801 長野県長野市箱清水1-4-4 [城山公園内・善光寺東隣]
Tel.026-232-0052
https://nagano.art.museum/

Composed Vibration: Wassily Kandinsky from the Collections in Japan

カンディンスキー 世界は鳴りひびく

日本のコレクションでたどる画業と反響

長野県150周年記念リニール・オープン5周年記念

カンディンスキー 世界は鳴りひびく

日本のコレクションでたどる画業と反響

Composed Vibration: Wassily Kandinsky from the Collections in Japan

抽象絵画の成立を主導した画家、ワシリー・カンディンスキー(1866-1944)。芸術の本質として「内なる響き」の概念を提唱し、目に見えるものにとられない精神の自由のもとに、形態と色彩をもちいて純粹な感性の芸術を探索しました。絵画にとどまらない諸芸術を共鳴させようとする先進的な表現は、現代の芸術に大きな影響をもたらしています。

カンディンスキーの画業をふりかえる初めての試みとなります。日本において、その理論と作品がどのように同時代的に受け入れられてきたのかについても焦点を当てます。カンディンスキーがぐり抜けた20世紀前半の世界大戦と革命は、絶対的な真理にかわる新たな価値観の誕生をうながしました。「世界は鳴りひびく」―世界の内と外に充滿する「響き」に心揺さぶられた画家の絵画に耳を傾けていただければ幸いです。



ワシリー・カンディンスキー
《素描》1938年 宮城県美術館蔵



ワシリー・カンディンスキー《絵の中の絵》1929年 国立国際美術館蔵

Nagano Prefectural Art Museum 2026 11.7 | sat | → 12.27 | sun |